

NEOCamHyper0835

接続可能な画像処理装置・画像入力ボード

FVC07CLMF

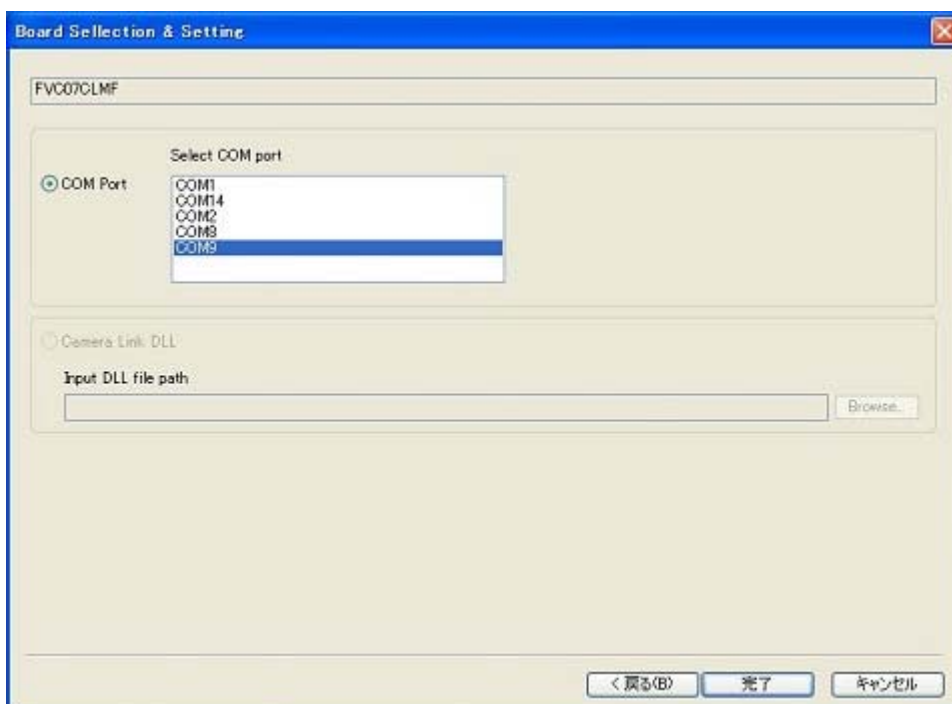
サポートする機能

取り込みモード名称 (ファースト呼称)	対応カメラ機能名称	備 考
ノーマル（通常）入力	内部トリガ	露光時間はカメラコントロールソフトウェアを使用するか、コマンド通信にて設定
トリガ入力	外部トリガ2	露光期間はソフトウェア設定

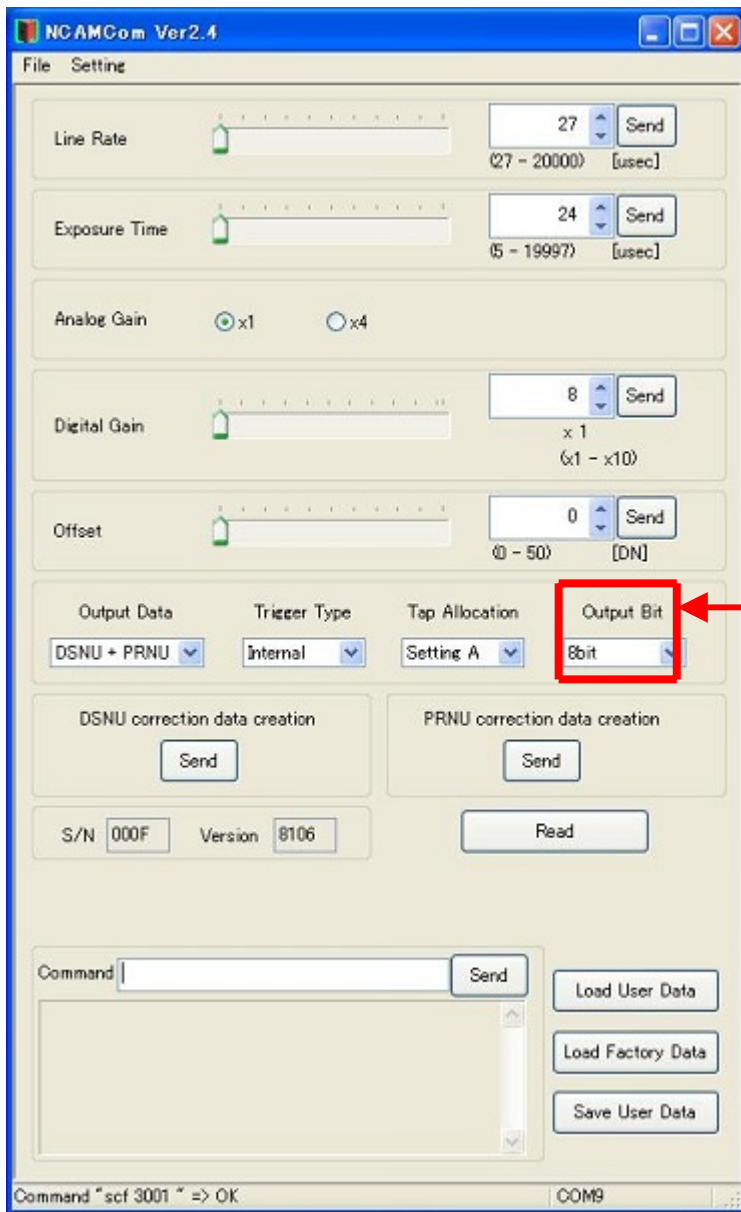
各モード共通の設定

カメラメーカーの提供するカメラコントロールソフトウェアを使用するか、弊社ライブラリ製品に用意された通信用 API 等を使用して設定を行う必要があります。本説明書とカメラメーカーが提供するマニュアルを参考に設定を行って下さい。通信用 API の詳細についてはライブラリ製品の説明書・ヘルプ等を参照して下さい。

以下、メーカー提供のカメラコントロールソフトウェアを使用した場合の設定、及び、通信コマンドを示します。COM ポート番号はボードの設定に合わせて下さい。



・カメラコントロールソフトウェア



出力 Bit 切替
→ 「8bit」 に設定

・通信

コマンド	設定項目	設定
scf	カメラ出力設定	「3001:8bit」 に設定

取り込みモードに依存する設定

ノーマル入力の場合

- ・カメラコントロールソフトウェア

The screenshot shows the NCAMCom Ver2.4 software interface. The following settings are highlighted with red boxes and labeled with red arrows and text:

- Line Rate:** Set to 27 [usec]. Range: (27 - 20000). Label: ラインレート → 任意に設定
- Exposure Time:** Set to 24 [usec]. Range: (5 - 19997). Label: 露光時間 → 任意に設定
- Trigger Type:** Set to Internal. Label: トリガ設定 → 「Internal : 内部トリガ」に設定

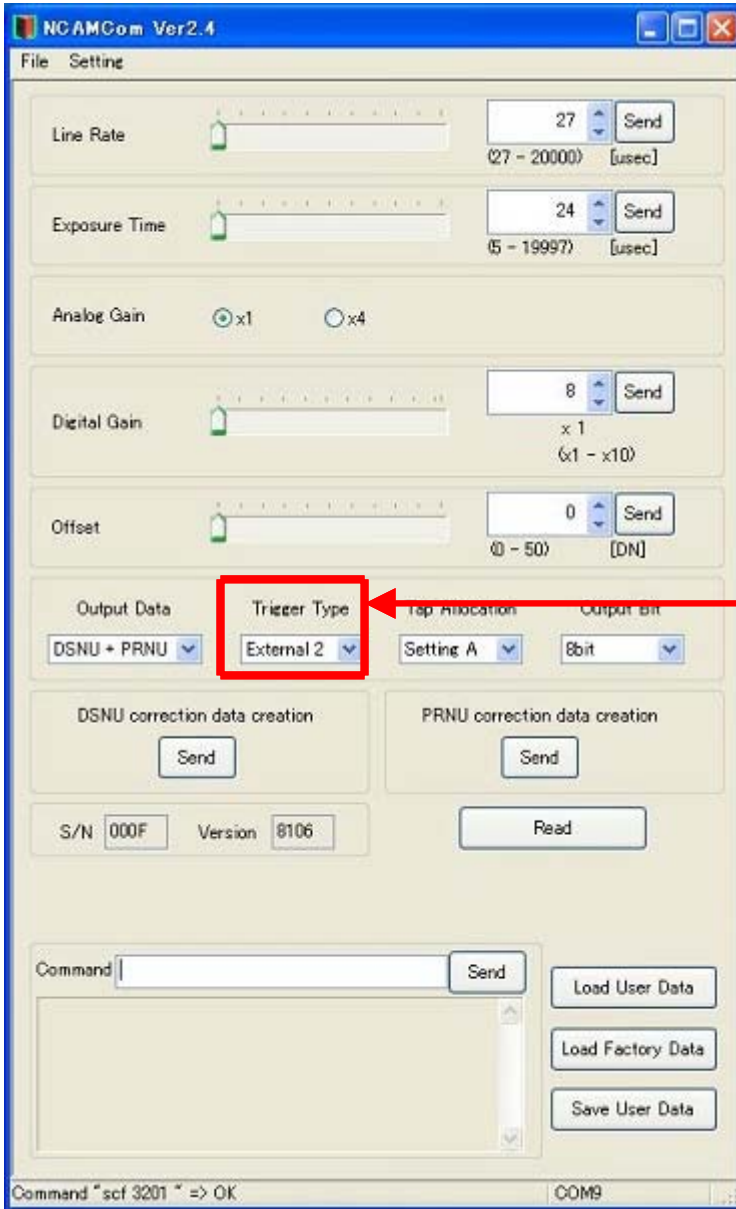
Other visible settings include Analog Gain (x1), Digital Gain (8 x 1), Offset (0 [DN]), Output Data (DSNU + PRNU), Trigger Type (Internal), Tap Association (Setting A), and Output Bit (8bit). Buttons for Send, Read, Load User Data, Load Factory Data, and Save User Data are also present.

- ・通信

コマンド	設定項目	設定
slr	ラインレート	「001B~4E20」の範囲で任意に設定
sit	露光時間	「0005~4E1D」の範囲で任意に設定
scf	カメラ出力設定	「3001:内部トリガ」に設定

トリガ入力の場合

- ・カメラコントロールソフトウェア



トリガ設定

→ 「External2 : 外部トリガ2」に設定

・通信

コマンド	設定項目	設定
scf	カメラ出力設定	「3201:外部トリガ2」に設定

その他デフォルトで使用可能です。

留意事項

詳細な設定方法およびカメラ仕様につきましては、ネオプト株式会社様より提供される「NEOCamHyper 取扱説明書」を参照して下さい。